

平成 30 年第 5 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12 月 4 日（5 日・6 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	富田 牧子 （日本共産党 可児市議団）	<p><u>1. 市民中心のまちづくりのさらなる推進を（市長・企画部長）</u> <u>一問一答方式</u> 可児市第 4 次総合計画後期基本計画は基本構想で、「参画」「協働」による市民のまちづくりをうたっているが、市民が「参画」できる機会が減っているのではないかという声がある。市民参画の機会の拡充を。</p> <p><u>2. 空家問題の解決を図り、帷子地域の活性化を（市長・市長公室長・建設部長）</u> <u>一問一答方式</u> これまで再三再四にわたって、空家対策について提案してきたが、何一つ進まず、空き家は増える一方である。「人口ビジョン」「総合戦略」「空家等対策計画」に書かれていることは、実行されているのか。</p>
2	板津 博之 （会派きずな）	<p><u>1. 市長選挙公約に基づいた市政運営について問う（市長・総務部長・観光経済部長・市民部担当部長・福祉部長・こども健康部長・教育委員会事務局長）</u> <u>一括答弁方式</u> 市長選挙において富田市長が掲げられた選挙公約では、住みごこち一番可児～安心、元気、楽しいまち～の実現を目指して 4 つの重点方針を進めることが示されました。その公約に基づいた今後の市政運営について問う。</p>
3	伊藤 健二 （日本共産党 可児市議団）	<p><u>1. 外国人受け入れ拡大にともなう諸課題への認識（観光経済部長・福祉部長）</u> <u>一問一答方式</u> 来年 4 月予定の外国人労働者の受入れ拡大に向け入管法改正が審議中だが、社会の根幹に関わる重大問題だ。政府は「労働力の輸入拡大」を急ぐが、本市の現実はどうか。多文化共生の理念と可児市での課題を問い直す。</p> <p><u>2. 地域防災の見直し課題について（総務部長・建設部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 大地震と豪雨災害が続発し、風水害や山崩れ等の土砂流出被害が起き得る気象環境となった今日、市民の安全確保、被災後の生活復旧を定める防災計画の見直しは進んだか。</p>
4	中村 悟 （真政会）	<p><u>1. マーノの利用状況について問う（こども健康部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 5 月開館以降半年が経過した。この間、お褒めの言葉や厳しい言葉等、様々な意見をお聞きしてきました。現状確認と対策について質問する。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
5	大平 伸二 (真政会)	<p><u>1. 新たな総合計画で「観光」を主要産業の1つと位置づけるのかを問う (企画部長・観光経済部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>可児市の主要産業は製造業ですが、第3次産業として、ポテンシャルのある観光を主要産業の1つとして新たな総合計画でどのように取り組んで位置付けていくかを問う。</p>
6	高木 将延 (会派きずな)	<p><u>1. かわまちづくり計画の進捗と今後について (建設部長)</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>本市のかわまちづくり計画は昨年3月に国のかわまちづくり支援制度に登録され、一年半が過ぎた。現在の進捗状況と今後の展望を伺いたい。</p>
7	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 本市の防災体制の充実について (総務部長・市民部長・こども健康部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>災害用備蓄食料の有効活用や乳児用液体ミルクの備蓄及び緊急防災・減災事業債を活用して小中学校体育館にエアコンの設置並びに観光危機管理の充実について本市の見解を問う。</p> <p><u>2. 小中学校の児童生徒の荷物の重量化対策について (教育長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>小・中学生の荷物の重量化について、どのように認識し対策を取るのか。文部科学省の事務通知「児童生徒の携行品に係る配慮」を踏まえた本市の対策は何か。</p>
8	川上 文浩 (可児未来)	<p><u>1. 東海環状自動車道 可児御嵩インターチェンジ周辺地域の土地利用について (観光経済部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>東海環状自動車道 可児御嵩インターチェンジ周辺地域の土地利用についての今後の見通しは。</p> <p><u>2. カラーユニバーサルデザイン (CUD) の対応について (教育長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>可児市内の小中学校などでの色覚異常への現場での対応、カラーユニバーサルデザイン (CUD) の普及状況について問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
9	山根 一男 (市民の声)	<p><u>1. 外国籍市民に対する防災の取り組み (総務部長・市民部担当部長)</u> <u>一問一答方式</u> 当市の人口の6.5%を占める外国籍市民。災害時には情報弱者となる可能性が高い。そうならないためにも普段からの防災意識の向上や、発災時の行動について周知に努める必要がある。現状と今後の対応について問う。</p> <p><u>2. 西可児中学校正門下から春里への都市計画道路の開通を (建設部長)</u> <u>一問一答方式</u> 西可児中学校正門下から、北側へ春里方面に抜ける道は、西可児中・春里小の通学路となっているが、狭くてカーブもあり大変危険である。同区間には都市計画道路の計画があり、これが実現できれば安全は確保できる。</p>
10	渡辺 仁美 (市民の声)	<p><u>1. これからの地域公共交通 (建設部長)</u> <u>一問一答方式</u> 地域交通の充実を図ることで得られる市民福利は移動の利便や観光推進にとどまらず、健康づくりに関与するとされる。住みよい健康長寿の町づくりを念頭に地域交通がどのようにデザインされるのか、今後の方策を訊く。</p>
11	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 市営住宅について (建設部長)</u> <u>一問一答方式</u> 公営住宅制度は、「住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸等により住生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること」を目的としている。市営住宅が建設されて30年以上の物件もあり、本市の方針を問う。</p>
12	天羽 良明 (可児未来)	<p><u>1. 高齢者が安心・安全に暮らせるための環境づくりをどう実現するか (総務部長・福祉部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 人生100年時代を見据え、高齢者の地域での見守り体制の充実により安心して介護できる環境づくりをどう実現するのか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。